



学校だより

みつめ みがきあい みらいをひらく 南神の子

南神大寺小学校
12月号
令和5年11月30日



みなかん HP



みんなで作るモザイクアート

校長 岩田 和也

早いもので、もう12月の声が聞こえてくる時期となりました。

さて、先日11月25日(土)の創立50周年を祝う会には、創立50周年記念事業実行委員会をはじめ、多くの皆様のご支援をいただき、子ども一人一人の思い出と南神大寺小学校の歴史に刻まれる大切な一日となりましたことにお礼を申し上げます。今も教室には、子どもたちが制作したモザイクアートの作品が西門の階段に設置されるのを待って並んでいます。全校の子どもたちの作品が出揃い、一つになって階段を彩るのが楽しみでなりません。その時が来ましたらまた皆様にお知らせいたしますので、足をお運びいただき、ご覧いただければ幸いです。

校内を見回りそのモザイク柄を目にすると、どれ一つとして同じデザインがないことに気づきます。どれもその子らしさが表れています。私が感心して子どもたちの作品の前で足を止めて眺めていると、そのクラスの子どもたちが近づいてきて、「あのね、〇〇さんは青色が好きだから…」「〇〇さんはね、器用で並べるの上手なんだよ。」と嬉しそうに話してくれました。その子らしさを一番よく知っているのは、クラスの友達なのだなと私も嬉しくなりました。一緒に過ごした時間の長さが子どもたちの言葉に「らしさ」として表れるのだろうと思います。

人には誰でも個性があります。個性は、他の人と少し違う、その人らしさです。ですから、良いところにも、困ったところにもなります。意見をはっきり言えるけど、思わず相手に失礼なことも言う人。反対に、人を傷つけることは言わないけど、自分の気持ちをなかなか伝えられない人。親切だけど、関係ない時もおせっかいをしてしまう人。いろいろ思い当たります。大事なことは、自分とは違う個性の人を嫌うのではなく、その人の個性を別の見方で受け止めることができないかと考えてみるのではないかと思います。

でも、いつも自分が我慢して相手を受け止めれば良いというわけではありません。例えば、勝手におしゃべりし続けられるのが嫌だなと感じるときには、「うるさい」とか「黙れ」とかという言葉で返すのではなく、「今、先生の話聞きたいから、自分のことばかり話すのはやめてほしい」と相手の行動がどんなふうに自分の迷惑になっているかをきちんと伝えることが大切です。相手も迷惑を掛けていることに気づきます。その行動がどう迷惑なのかを伝えられるということは、相手の個性を受け止め、賢い人になっているということでもあります。「あの子がいるから、うちのクラスは楽しくない」と考えるのは間違いで、その子を否定する人がいるから楽しくないのです。機嫌が悪い人がいると、それだけで周りの雰囲気が悪くします。いつも優しい気持ちで人を受け止めることができるとよいと思います。

個性は大切です、自分と違う感じ方をする人と一緒に仲間になれることは、自分の個性も受け入れてもらえているということです。そしていろんな人がいるクラスは素晴らしいことを成し遂げる最強のチームにもなります。私にクラスのお友達のその子らしさを伝えてくれた子どもたちは、きっとそのよさを普段から理解しているのだろうと感じさせてくれるのでした。

12月には、学校では、いじめ防止啓発月間、人権週間として、みんなが安心して気持ちよく生活していくためにはどうしたらよいかを考えます。発達段階に応じて、道徳の学習を中心に、「だれもが」「安心して」「豊かに」生活するために、どんなことが大切なのかを考える学習に取り組みます。ご家庭でもこの機会にお子さんとお話をする時間を作っていただくと幸いです。

寒くなってまいりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、どうぞご自愛ください。